

理科教育センター便り

平成30年10月発行

久留米市理科教育センター
 所長 伏貫 義樹
 久留米市南1丁目8番1号
 (久留米市教育センター内)
 TEL (0942) 36-9777・9778
 FAX (0942) 35-9930

科学する心を育む「第71回久留米市理科作品展」開催

今年も市内小中学校の児童生徒の理科作品を数多く紹介し、児童生徒の「科学する心」を育もうと、第71回久留米市理科作品展を去る9月1日(土)・2日(日)の両日、久留米工業大学体育館を会場に開催しました。

理科作品の出品総数は、749点。どの作品も、熱心に粘り強く追究してまとめた作品で、児童生徒の頑張りと科学する心の育ちが窺われました。一日目は終日雨、二日目は蒸し暑い中にもかかわらず、多くの方においでいただき、盛会裏に終えることができました。

児童生徒の研究を指導していただいた先生方や保護者の皆様、そして、作品の搬入、会場設営、作品展示等で、理科作品展を支えてくださった理科教育センター委員の先生方に感謝いたします。



□出品点数

研究物	629点
採集物	24点
創作物	96点
計	749点

□来場者数

来場者 期日	子ども	大人	計
	9月1日(土)	549名	573名
9月2日(日)	841名	899名	1740名
計	1390名	1472名	2862名

同時開催 サイエンスフェア!

サイエンスフェアを同時開催し、福岡県青少年科学館と久留米工業大学によるサイエンスショーを行いました。

福岡県青少年科学館より



液体窒素の中にいろいろな物を入れて、それらがどのように変化するかという実験や種も仕掛もある楽しい科学のマジック等を見せられました。

久留米工業大学より



空間に樹脂などを何層にも積み重ね、デジタルデータを立体造形物としてプリントする3Dプリンタの操作を披露していただきました。

来場者のアンケートから

- どれも、よく観察、実験、研究がまとめられ、すばらしかったです。
- 授業で学んだことを実際にやってみたり、実験したりで、どの作品にも頑張りが見られました。
- すごく時間をかけて作品を作っていて、おどろきました。
- サイエンスショーに子ども達はワクワクしていました。
- サイエンスショーを見て、子ども達が楽しそうだったのでよかったです。

「福岡県小・中学生科学研究作品展」推薦作品紹介

福岡県教育委員会では、児童生徒の理科・科学技術への興味・関心を高め、科学する心を育むために、「福岡県小・中学生科学研究作品展」を実施しています。県下の市町村から4点ずつが出品され審査されます。入賞した作品は、11月10日(土)、11日(日)に福岡県青少年科学館に展示され、11日(日)には、表彰式があります。

久留米市理科作品展に出品された作品の中から、特にすぐれていると評価された下記の4点を久留米市の代表として推薦しました。

(審査員：理科教育センター運営委員・常任委員、教育センター職員)

作品名 概要	「いろいろな豆でとうふを作りました」 大豆以外の豆でもとうふが作れるか、味や食感にどんな違いがあるのかを、大豆、黒豆、えんどう豆、ひよこ豆、レンズ豆を100gずつ使って調べています。 全部の豆で、とうふができるわけではないということが分かり、にがりで大豆の豆乳がかたまることを発見した人がすごいなとまとめています。	篠山小学校 2年 三好 杏佳
作品名 概要	「ダンゴムシとジグザグめい路」 『人間が知らない生き方(文響社)』という本に「ダンゴムシは進んでいる間に壁にぶつかった時、左右のどちらかに曲がる。また、違う壁に当たった時、前に曲がったのと反対の方向に曲がる。」と書いてあったことから、これを自作の迷路で実験し、確かめています。	小森野小学校 4年 加藤 嵩琉
作品名 概要	「人体模型」 理科の時間に学習した人の体について興味をもち、詳しく調べているうちに、だんだんと臓器等の実際の重さや大きさが気になり、人体模型を作っています。 「こんなに重い肝臓が自分達の中にあるの〜?」や「こんなに長い6mもある小腸が体の中にあるの〜?」と臓器等の重さや大きさを、実感としてとらえています。	上津小学校 6年 権藤 陽紀
作品名 概要	「地震から建物を守るためには・・・」 「地震大国である日本では、数年～数十年おきに大地震が発生している。その度に、新聞やテレビで被災地の映像が流される。それを見ていると、倒壊している建物、全く無傷の建物も見られる。」このことに疑問をもち、自作の建物の模型を使って実験し、建物を守る仕組みを調べています。	諏訪中学校 2年 吉田 明未

第6回「からくり儀右衛門大賞」(主催 文化財保護課) 入賞作品紹介

「ものづくりのまち久留米」の次代を担う久留米市の全小中学校の児童生徒に、創作の喜びを体感することを促すために、「久留米市理科作品展」に出品された創作部門の作品の中から「からくり儀右衛門大賞」として、下記の作品が選ばれました。

【久留米市長賞】	「水圧ロボットアーム」	江上小 6年 太田 陸斗
【久留米市教育委員会教育長賞】	「身近なもので和紙を作ってみた」	高良内小 5年 徳永 朱里
【久留米工業大学賞 小学生の部】		
金賞	「強い柱の構造を探れ」	南小 5年 鈴木 悠雅
銀賞	「さかなのいばしょからみるこうらがわのじょう・ちゅう・かりゅうのわけかた」	御井小 1年 篠倉 そうすけ
銅賞	「アレルギーの子が食べられるケーキ」	小森野小 2年 最所 紬
特別賞	「カブトムシVSコウモリ」	西国分小 1年 おの こうた
【久留米工業大学賞 中学生の部】		
金賞	「筑後川の水質検査」	宮ノ陣中 2年 八尋 智紀
銀賞	「草の辞典(全四十八種)」	牟田山中 1年 小佐々 颯太
銅賞	「エジソン電球をつくろう」	明星中 1年 小西 晴斗
特別賞	「川の魚」	城島中 3年 岩永 陸玖